

孤独・孤立対策の基本理念・基本方針等に関する議論の整理

前回の会議やこれまで開催したフォーラムにおける意見等をもとに、整理。
今後開催するフォーラムや各府省庁の関連施策の調整状況等も今後反映。

1. 孤独・孤立対策の基本理念

(1) 「孤独」「孤立」双方への対応

- 一般に、「孤独」とは主観的概念であり、ひとりぼっちである精神的な状態を指し、「孤立」とは客観的概念であり、つながりや助けのない状態を指す。
- 「人間関係の貧困、困窮」とも言える孤独・孤立の状態は、「痛み」や「辛さ」を伴うもの。健康面への影響や経済的な困窮等の影響も懸念。
- 孤独・孤立に至る背景や当事者（※）が置かれる状況は多岐。孤独・孤立の感じ方・捉え方は人によって多様。
- 一律の定義の下で所与の枠内での施策の実施ではなく、「孤独」「孤立」の双方に対して当事者の状況等に応じた多様なアプローチ手法により施策を実施。

※ 生活困窮者、ひきこもりの状態にある方、妊娠・出産期の女性、子育て期の親、シングルマザー等の困難を抱える女性、DV等の被害者、子ども、学生、不登校の児童生徒、中卒者や高校中退者で就労等していない人、高齢者、求職者、中高年、社会的養護の出身者、刑務所出所者、犯罪被害者、被災者、障害者、難病等の患者、在留外国人、ケアラー、LGBTQ など
- 個人の領域に対する公的な関与は謙抑的でなければならないことに留意。
- 社会の変化による当事者が望まない「孤独」と「孤立」を対象として、実態やニーズに応じた施策を有機的に連関。
- 「孤独・孤立に悩む人を誰ひとり取り残さない社会」、さらに「誰もが自己存在感・自己有用感を実感できるような社会」「相互に支え合い、人と人との「つながり」が生まれる社会」を目指す。
- 「社会的孤立」がセルフネグレクトや社会的排除を生むという「負の連鎖」を断ち切る観点からも取組を推進。
- 実態把握の結果を踏まえ、関連データを利活用して、施策を点検・評価。

(2) 当事者や家族の立場に立った施策の推進

- 孤独・孤立は、人生のあらゆる場面において誰にでも起こり得る。
- 孤独・孤立の問題は、人生のどの場面で発生したかや当事者の属性・生活環境等によって多種多様。
- 当事者のニーズや生活基盤を置く地域の実情等は多様。支援に当たって配慮すべき事情を抱える方、当事者の家族が困難を抱えている場合も存在。
- まずは当事者の目線に立って、当事者のライフステージや属性・生活環境、多様なニーズや配慮すべき事情等を理解した上で施策を推進。
- その時々 of 当事者の目線や立場に立って、切れ目がなく息の長い、きめ細やかな施策を推進。
- 孤独・孤立の問題を抱える当事者の家族も含めて支援する観点からの施策を推進。

(3) 人と人との「つながり」を築くための施策の推進

- 孤独・孤立の問題を抱える当事者が相談できる誰かや信頼できる誰かと対等につながるという形で、人と人との「つながり」を築くことが重要。
- 疎外感が強い関係に形式的につないでも孤独・孤立の問題は解消しない。
- こうした考え方の下で施策を推進。当事者の精神的な支援の充実が重要。
- 孤独・孤立の問題は、当事者個人の問題ではなく、社会の変化により当事者が孤独・孤立を感じざるを得ない状況に至ったもの。当事者が悩みを家族に相談できない場合があることも踏まえると、行政・民間を含めて社会全体で対応しなければいけない問題。
- 幼少期から「共に生きる力」を育む教育も重要。
- 孤独・孤立の問題が顕在化する前の「予防」的な対応、関連分野や因果関係が多岐にわたる問題や行政に積極的にアクセスしない者への対応は、行政のみでは困難又はなじみづらい。行政と民間の連携が必要不可欠。
- 行政・民間の施策の有機的な連携及び充実に図り、行政（特に基礎自治体）における既存の取組も活かした推進体制の整備、住民組織との協力、NPO等の民間法人との相互連携により、当事者に対して安定的・継続的に施策を展開。

2. 孤独・孤立対策の基本方針

(1) 孤独・孤立に陥っても支援を求める声を上げやすい社会とする

① 孤独・孤立の実態把握

- 施策の効果的な実施や評価・検証、施策の在り方の検討、関係者との情報共有に資するよう、孤独・孤立に関する実態の把握を推進。
- 実態把握の結果を踏まえ、孤独・孤立に陥る要因を分析し、予防の観点からの施策の在り方について検討。

② 支援情報が網羅されたポータルサイトの構築、タイムリーな情報発信

- ポータルサイト等による継続的・一元的な情報発信、24 時間対応の相談体制、ワンストップの相談窓口、プッシュ型の情報発信等を推進。

③ 声を上げられる環境整備

- 孤独・孤立に陥っても「ためらい」「恥じらい」の感情により支援を拒む方、基本的に「申請主義」である制度の下で支援制度を知らない等により支援を受けていない方、孤独・孤立に陥っている方の家族など周りの方が困難を抱える場合が存在。
- 当事者がその意思・意向により支援を求める声を上げることができ、当事者の家族等の周囲が気づきや対処をできるような環境を整える。
- 社会全体の機運の醸成や支援制度を知るための情報発信や広報及び普及啓発、アウトリーチ型支援を含めた当事者への働きかけや「伴走型」支援を推進。

(2) 状況に合わせた切れ目のない相談支援につなげる

① 相談体制の整備（電話・SNS 相談の 24 時間対応の推進等）

- 当事者一人ひとりの多様な事情やニーズ等の状況に合わせて、切れ目がなく、息の長い、きめ細かな相談支援を受けられるよう、全国において、24 時間対応の相談など相談体制の整備を推進。

- 各種相談支援制度の有機的な連携や各相談支援機関の対等な連携を進める。ワンストップの相談窓口等の一元的・包括的な相談支援体制の整備を検討。

② 人材育成等の支援

- 関係機関において相談支援に当たる人材の確保、育成及び資質の向上を推進。
- 相談支援に当たる人材へのケア等の支援により定着を促進。

(3) 見守り・交流の場や居場所づくりを確保し、人と人との「つながり」を実感できる地域づくりを行う

① 居場所の確保

- 人との「つながり」を持つ場や相談等の場となり、地域コミュニティの形成・維持にも資する「居場所」づくりや担い手の増大を推進。NPO 等が利用しやすい支援の在り方を検討。
- 「つながり」の場づくりそのものを施策として評価。

② アウトリーチ型支援体制の構築

- 支援を求める声を上げることができない当事者を支援につなげることができるよう、当事者の意向や事情にも配慮したアウトリーチ型の支援を推進。NPO 等が利用しやすい支援の在り方を検討。

③ 保険者とかかりつけ医等の協働による加入者の予防健康づくりの推進

- かかりつけ医等と医療保険者が協働し、加入者の健康面や社会生活面の課題について情報共有しながら、加入者の重症化予防に必要な栄養指導等の保健指導の実施や地域社会で行っている相談援助等の活用を進めることで、加入者の健康面及び社会生活面の課題を解決するための取組を推進。社会的支援に公的施設を活用する取組も推進。

④ 地域における包括的支援体制の推進

- 孤独・孤立の問題を抱えている、あるいは陥りやすい当事者に対して、地域の専門職等による継続的・緊急的支援、当事者が選択して役割を見出せる場となる地域コミュニティへつながり支援、コミュニティ（職場・世帯）間移動の支援等を行う各種制度での対応を充実。
- 包括的支援体制の構築のツールである地域福祉計画の下で、福祉と教育の連携（例えば、子どもが通う学校を起点・拠点として問題を早期に把握して地域での支援へつながり仕組み）、福祉と雇用・就労や住まいの連携など、各分野の取組を有機的に連携させて分野横断的に、当事者を中心に置いた包括的支援体制を推進。
- 地域において当事者を重層的に支えるセーフティネットを構築し、小学校区や自治会等の地域の実情に応じた単位で人と人とのつながりを実感できる地域づくりを推進。

（４）孤独・孤立対策に取り組む NPO 等の活動をきめ細かく支援し、官・民・NPO 等の連携を強化する

① 孤独・孤立対策に取り組む NPO 等の活動へのきめ細かな支援

- NPO や福祉関係法人等の活動（人材育成を含む）に対して継続的・安定的にきめ細かな支援を実施。

② NPO 等との対話の推進

- 対策が当事者のニーズ等に即してより効果的なものとなるよう、NPO 等との対話により、官民一体で孤独・孤立対策の取組を推進。
- NPO 等が当事者への支援を進めるに当たって必要な場合には、当事者の意向にも配慮しつつ、個人情報の取扱いに関する先行事例等の情報を NPO 等や地方自治体へ提供・共有。

③ 連携の基盤となるプラットフォームの形成支援

- まずは各種相談支援機関や NPO 等の連携の基盤となる全国的なプラットフォームの形成の支援により、人と人とのつながりを実感できる地域づくりや社会全体の気運の醸成を図りつつ、官民一体で孤独・孤立対策の取組を推進。

④ 行政における孤独・孤立対策の推進体制の整備

- 孤独・孤立の問題への対応や官・民・NPO 等の連携を円滑に進める観点から、地方自治体（特に基礎自治体）における既存の取組も活かした孤独・孤立対策の推進体制の整備を促進。
- 地方自治体における体制整備や、地域の実情に応じた施策の展開・底上げを支援するため、地方自治体に対し、政府の施策や好事例等の情報を提供・共有。

3. 孤独・孤立対策の重点計画の基本的事項

- 本重点計画に掲げられた施策の実施状況の評価・検証や、本重点計画の見直しの検討を、毎年度実施。